

○水生物モニタリング調査結果一覧（太田川F）

<太田川F 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
F-1	○	○	○	○	○	○

<太田川F 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)
F-1	37.5975°	140.9252°	R5.8.31	08:50	09:05	26.0	26.4	砂混シルト	10Y4/1	なし	0.20	44

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
F-1	37.5975°	140.9252°	R5.8.31	08:50	7.4	<0.5	3.3	8.7	7.7	0.04	1.5	3	1.5	0.0022	0.16	0.0046

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
F-1	37.5975°	140.9252°	R5.8.31	09:05	7.3	451	31.5	5.2	2.6	2.670	0.0	0.5	7.8	39.8	38.5	13.4	0.071	4.8	9.9	530	2.2

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<太田川F 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
F-1	太田川本流	37.5975°	140.9252°	R5. 8. 28	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.055	—	—	—	296.8	6.8	290	—	
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	80	0.021	幼虫	—	—	—	28	N. D. (6. 1)	28	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	56	0.0089	幼虫（ヤゴ）	—	—	64	N. D. (9. 9)	64	—	
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Stylogomphus suzuki</i>	オジロサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Meligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Davidius</i> sp.	ダビドサナエ属										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ										
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	30	0.014	幼虫	—	—	17	N. D. (3. 8)	17	—	
					節足動物	軟甲	エビ	テナカエビ	<i>Palaeon paucidens</i>	スジエビ	141	0.18	成体	—	—	69.9	1.9	68	—	
					節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	419	0.063	未成体/成体	—	—	69	N. D. (3. 4)	69	—	
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	17	0.037	未成体	—	—	66	N. D. (3. 7)	66	—	
					軟体動物	二枚貝	マルマガイ	シジミ	<i>Corbicula</i> sp.	シジミ属	391	0.011	成体	—	軟体部	31	N. D. (4. 3)	31	—	
					軟体動物	腹足	盤足目	カワナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワナ	29	0.010	未成体/成体	—	軟体部	45	N. D. (3. 6)	45	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	7	1.9	未成魚/成魚	ヒゲナガカワトビケラ	内臓除去	235.3	5.3	230	0.58	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	4	0.15	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	96	N. D. (2. 2)	96	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	47	0.20	未成魚/成魚	—	—	53	N. D. (1. 7)	53	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	96	0.49	未成魚/成魚	—	—	38.3	1.3	37	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	7	0.14	未成魚/成魚	—	—	133.2	3.2	130	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	1	0.032	未成魚	—	—	52	N. D. (5. 8)	52	—	
脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	15	0.052	成魚	—	—	99	N. D. (5. 8)	99	—						
脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ															
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.29	—	—	—	266.2	6.2	260	—	
F-5	太田川本流	37.6022°	140.9868°	R5. 8. 28	節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	1	0.0058	未成体	—	—	18	N. D. (5. 9)	18	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	0.084	成魚	不明消化物	内臓除去	12	N. D. (1. 5)	12	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	ヌマチチブ	1	0.023	成魚	—	—	51	N. D. (4. 9)	51	—	
					脊椎動物	両生	無尾	アメリカカエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	7	0.022	幼生（イタマツヤクシ）	—	—	47	N. D. (7. 0)	47	—	
					脊椎動物	両生	無尾	アメリカカエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	1	0.16	成体	—	—	9.5	N. D. (1. 5)	9.5	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。